

# 特集「阿蘇神社楼門・阿蘇中岳火口施設の今」

## 復旧が進む阿蘇神社楼門



平成 28 年の熊本地震による阿蘇神社の神殿や拝殿、楼門の倒壊は、阿蘇市民、ひいては全世界に衝撃を与えました。

被災から丸 7 年、関係者のご尽力により神社全体の復旧工事も終盤を迎えています。

議会広報委員会では、令和 5 年 3 月 5 日～12 日に実施された見学会に参加し、復旧が進む阿蘇神社の状況を確認しました。阿蘇神社から、楼門の復旧工事の完了は、今後素屋根が解体され、年末頃になるとの説明を受けました。

## 阿蘇山火口の避難施設及び新展望所（Eゾーン）

令和 5 年 3 月 23 日（午前 11 時）阿蘇山の噴火警戒レベルが 2 から 1 に引き下げられました。議会広報委員会では、立入り規制の影響で工事の中断を余儀なくされていた阿蘇山火口二次避難休憩施設及び火口新展望所（Eゾーン）を視察し、避難施設内部への火山ガスの影響を確認しました。所管の観光課からは、令和 5 年 4 月 12 日に採択された環境省の令和 5 年度自然環境整備交付金により、早急に工事再開を進めるとの報告を受けました。



整備が進む「阿蘇山火口二次避難休憩施設」



新展望所「Eゾーン」